



安養寺景観まちづくりガイドライン

～百年先の安養寺にふさわしい景観まちづくりの進め方～

平成25年3月

安養寺景観まちづくり協議会

目 次

はじめに	・・・1
1. 基本的な考え方	・・・2
(1) 「住んで良し、訪れて良し」のまちづくり	
(2) まちとしての一体性、ストリートとしての連続性	
(3) まちの魅力化、個性化	
2. 花と緑	・・・4
(1) 「花と緑のガイドライン（別途規定）」の尊重	
(2) 敷地内緑化、建築緑化など可能性の追求	
(3) 「里山」と「都市」をつなぐ安養寺らしい植栽	
(4) 立体的で季節感を伝える植栽	
3. 緑の幹線地区における配慮	・・・6
3-1. 建築デザインの配慮	・・・6
(1) 風景におだやかになじみ、味わいある良質な意匠	
(2) さわやかさ、やすらぎ、暖かさを感じさせる色彩、形態	
3-2. 景観への配慮	・・・8
(1) 道路と建物壁面の間にゆとり空間の確保	
(2) 看板・広告物の大きさ、高さ、色彩、意匠による景観の質向上への寄与	
(3) 景観に調和する塀・工作物の設置または壁面緑化、生垣の採用	
(4) 自動販売機の設置コントロール、おさえた色彩（茶、黒、グレー系など）	
(5) 防犯と夜のまちなみに配慮した夜間照明	
3-3. 地域コミュニティへの配慮	・・・10
(1) 地域に開かれた空間の確保	
(2) 動線、安全性への配慮	
(3) 1階道路に面した部分の明るさ、にぎわいへの配慮	
(4) すでに取組みを進めるまちづくり、市民活動との理解・協力・連携	
4. 緑の住まい地区・地区計画区域以外における配慮	・・・12
(1) 歴史的・文化的な雰囲気と調和した景観づくり	
(2) 緑豊かな住宅地の景観づくり	
■参考資料	・・・14
○植栽リスト・植栽例、色彩例・配色例	
○参考事例	

はじめに

安養寺景観まちづくりガイドライン

～百年先の安養寺にふさわしい景観まちづくりの進め方～ の策定に当たって

わたしたちが目指す景観は、数年でできるものではなく、百年もの長い時間を掛けて形づくられるものです。安養寺山やいちょうの並木に代表される豊かな緑を大切にしながら、百年先を見据え、住民や来訪者が笑顔で楽しむことができる、今以上にもっと住みよいまちを目指して、安養寺景観まちづくりガイドラインを定めます。

■ 役割

景観まちづくりガイドラインでは、建築物や広告物などをつくる場合や直す場合などに、百年先を見据えて考えて頂きたい思い・具体的に配慮したい内容を取りまとめています。

■ 建築物や広告物をつくる・直そうとする場合は・・・

栗東市では、栗東市景観条例に基づいて「風格づくり会談」を義務付けています。建築行為等を行おうと思った段階で、市都市計画課と話し合いを行い、景観づくりの目的や具体的な手続き等を確認してください。

その後、**緑の幹線地区**では、法に基づく届出を行って頂き、地区計画や建築条例の基準への適合に加え、**安養寺まちなみ相談会**において**景観まちづくりガイドライン**への配慮事項等を確認させていただきます。

緑のすまい地区では、法に基づく届出により地区計画や建築条例の基準への適合を確認させて頂くのみとなりますが、**景観まちづくりガイドライン**に配慮してください。

なお、**地区計画以外のエリア**でも、同じ安養寺地区として、一体的な魅力ある景観づくりに向けて、**景観まちづくりガイドライン**を参考にして頂きます。

1. 基本的な考え方

全地区共通

(1)「住んで良し、訪れて良し」のまちづくり

安養寺では、市の中心市街地として、「**住んで良し、訪れて良し**」のまちづくりに取り組んでいます。

安養寺山や葉山川をはじめとした**豊かな自然環境**や**あたたかいコミュニティ**の中で、心穏やかに快適に暮らせるまち、安養寺以外の人の日曜日にはセンスある隠れ家的なカフェでゆっくりしたり、ガーデニングを楽しめるまち、そんなまちを目指して安養寺の景観まちづくりを進めています。



(2)まちとしての一体性、ストリートとしての連続性

安養寺では、住んでいる人も訪れる人も楽しく、心穏やかになれる、センスを大切にしたい**花と緑のまちづくり**を進めています。

安養寺全体が花と緑のまちづくりに取り組んでいることが伝わるよう、**まちとしての一体性**を意識しながら、個々の建築行為においても**花と緑にこだわった計画づくり**を進めましょう。



また、市役所前いちょう通り（(都)手原駅新屋敷線）にはいちょう並木があり、行き交う人にキレイな景色を楽しませてくれています。特に、幹線道路については、**ストリートとしての連続性**が感じられる景観まちづくりに取り組んでいきましょう。

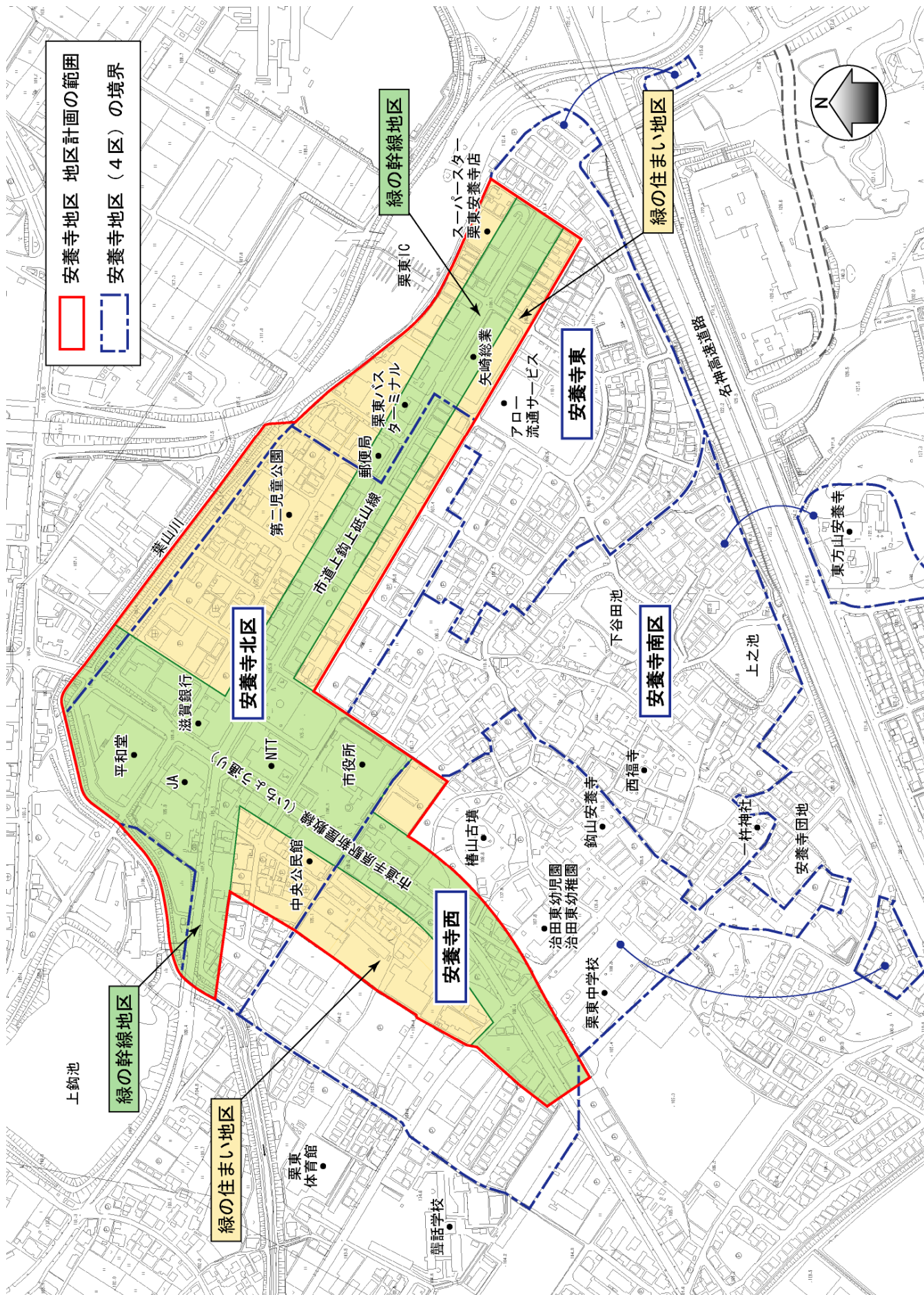
(3)まちの魅力化、個性化

今以上に住み良いまちを実現していくため、安養寺の魅力を磨き、高め、個性を大切にしたまちづくりを進めていきたいと考えています。

安養寺に関わる様々な人が、同じ方向性を見つめながら、安養寺の**魅力**や**個性**を高めていくアイデアを出し合い、前向きに景観まちづくりを進めていきましょう。



○安養寺 緑のわがまち計画のエリア



※緑の幹線地区では相談会が必要となります。

※その他の地域においても、この景観まちづくりガイドラインを参考にして頂きます。

(1) 「花と緑のガイドライン」の尊重

安養寺地区においては、「**花と緑のガイドライン**」を定め、まちが一体となって統一感のある景観まちづくりを進めていきます。

安養寺景観まちづくりにおける「花と緑のガイドライン」

1. 基本方針

単に緑化する、緑を増やす、花をとり入れるという考え方だけではなく、安養寺の景観まちづくりの理念に沿って、植物・自然の力を借り、その可能性を広げることで街の魅力、価値を高めることを目指す。

- 生活の場としての憩いや安らぎ、訪れる場としての楽しみや交流機会を創出する
- 街としての一体感、通りとしての連続性を醸し出す
- 多様な花木による魅力化、特徴ある美しい花と緑の構成による個性化

2. 植栽の組み合わせ

樹高、常緑・落葉、季節感を組み合わせ、立体的で変化に富んだ植栽デザインを基本とする。

(1) シンボルツリー (H3.0～5.0)

- ・ 樹形の美しいシンボルとなる木を各区画に1本はとり入れ、街としてその組み合わせで楽しめるようにする。

(2) 中高木 (H2.0～2.5)

- ・ 花や実、紅葉の楽しめる広葉落葉樹を主体に常緑樹を混ぜて、季節のこまやかな移り変わりが伝わるようにする。

(3) 生垣・中木 (H1.0～1.8)

- ・ 常緑樹を主体に緑の色違い、高さの違いを折り混ぜて、変化あるナチュラルな緑の壁を形成する。

(4) 低木 (H0.5)

- ・ 常緑樹と落葉樹をバランスよく混植することで、春夏秋の季節感と冬景色を両立させる。

(5) 草花

- ・ 樹木の足元や道端に自然な美しさ、風情をただよわせる役割を果たせるように、グランドカバーの機能をもたせつつ、強く長続きする多年草（宿根草）を主体に組み合わせる。

3. 統一感のある植栽パターン

植栽帯の奥行き、幅の大きさに応じた基本パターンに合わせることで統一感を創り出す。

- A. 0.5m程度のケース
- B. 1m程度のケース
- C. 1.5m～2.0m程度のケース
- D. 3m以上のケース

4. 外構の仕様

- (1) 道路側には原則塀を設けずオープン外構とする（塀設置の場合は1mセットバックの上緑地をとる）。
- (2) 道路から見える駐車スペース、歩路、緑化スペースは原則共通素材とする。
- (3) 外構仕上げは、自然色（アースカラー）のたたき仕上げ、洗出し、石、平板、インターロッキング又は同等品とする。

(2) 敷地内緑化、建築緑化など可能性の追求

近年、地球温暖化対策や環境にやさしいまちづくりを背景に、**屋上緑化**や**壁面緑化**などの技術も進化し、敷地のあらゆるところで積極的な緑化が見られます。また、安養寺でも、安養寺山や葉山川などの自然環境をはじめ、栗東中学校前の花壇やたこ公園、いちょう並木、センスあふれる個人のガーデンなど、多くの花・緑が見られます。

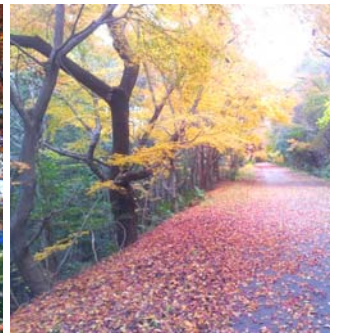
まちの緑を見て、**安養寺のまちにふさわしい花と緑**を考え、積極的な緑化・ガーデニングに取り組んでいきましょう。



(3) 「里山(さと)」と「都市(まち)」をつなぐ安養寺らしい植栽

安養寺は、身近に自然豊かな里山・安養寺山を感じることができ一方、幹線道路沿道を中心に生活利便施設が立地し、都市(まち)として快適な生活環境が形成されています。

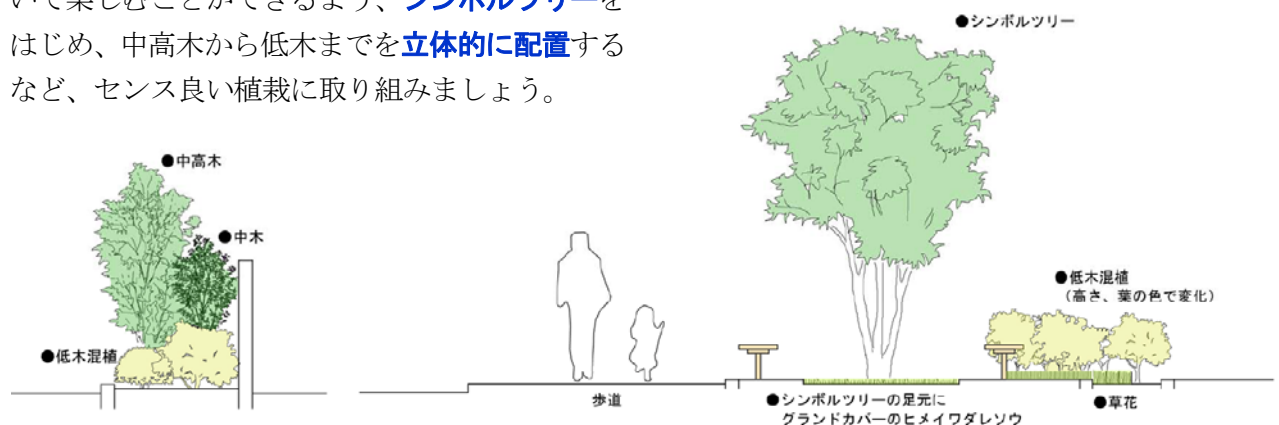
「**里山(さと)**」と「**都市(まち)**」、両面を感じながら生活できる安養寺の特性を踏まえ、安養寺らしい植栽に取り組みましょう。



(4) 立体的で季節感を伝える植栽

安養寺の景観まちづくりでは、これまでの量を重視した緑化ではなく、**質**の高い、**センス**ある緑化に取り組んでいます。**四季**によっていろいろな緑が楽しめる、そんな街並みを目指しています。

特に、多くの人が行き交う幹線道路沿いは、歩いて楽しむことができるよう、**シンボルツリー**をはじめ、中高木から低木までを**立体的に配置**するなど、センス良い植栽に取り組みましょう。



3. 緑の幹線地区における配慮

3-1. 建築デザインの配慮

(1) 風景におだやかになじむ形態、味わいある良質な意匠

安養寺では、安養寺山や葉山川をはじめとした**豊かな自然環境**のもとで**花と緑にこだわったまちづくり**に取り組んでいます。特に、多くの人が行き交う幹線道路沿道においては、こうした風景におだやかになじむ**建物の高さや位置、デザイン**を考え、周囲の**まちなみの連続性**に配慮しましょう。

また、周囲のまちなみに大きな影響を与える建築物の外観・意匠については、できる限り**著しい装飾や無機質な印象を与える意匠**を避け、周囲の景観との調和に配慮したデザインを考えましょう。

■違和感を与える例



■周辺景観への調和に配慮した例

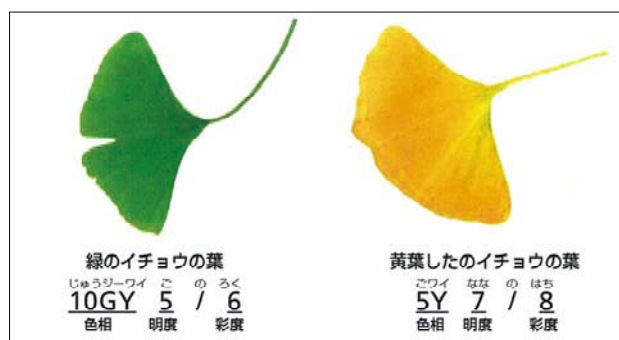


(2) さわやかさ、やすらぎ、あたたかさを感じさせる色彩、形態

建築物の壁面などの**色彩**は周囲の景観に大きな影響を与えることから、美しい街並みづくりに向けでは**色彩**のデザインが重要になります。「百年先のあなたに手渡す栗東市景観計画」では、大規模建築物に対して次のような色彩の基準を定め、周囲の景観への影響を抑えるように誘導しています。

安養寺においても、周囲の景観との調和を乱すけばけばしい色彩を使わず、また、**空や樹木の緑、土や水などの自然の色**と馴染みやすい、**暖かさを感じさせる低彩度の色、明度7以上**（レンガなどの自然素材は明度6程度）の**落ち着いた色彩**を使うようにしましょう。

いちよう並木など移り変わる自然の色を尊重しながら、使い慣れた親しみのある色彩を使ったり、補色効果に配慮したアクセントカラーをセンス良く用いるなど、安養寺にふさわしい色彩デザインを考えましょう。



■景観形成基準（「百年先のあなたに手渡す栗東市景観計画」）

- 周辺景観との調和や色彩の性質などに配慮し、けばけばしい色とせず、落ち着いた色調とするとともに、単調なデザインにならないよう配慮しましょう。
- 市街化調整区域においては外壁の表面積の9/10以上、市街化区域においては外壁の表面積の4/5以上は、次の色彩の基準に配慮しましょう。

		明度（下限値）	彩度（上限値）
有彩色	R・YR・Y (赤・橙・黄色系)の色相	3以上	4以下
	その他 (緑・青・紫系)の色相	3以上	2以下
無彩色		3以上	—

※数値はマンセル値。

※建築物の敷地が市街化区域及び市街化調整区域の内外にわたる場合は、敷地の過半の属する区域の規定を適用。

※屋根は彩度のみ適用し、木材、石材等の自然素材を使用する場合はこの限りではない。

※自然素材に近い色合いや質感を演出できるタイル、レンガ、石板などの素材は、製品により幅があるため、上記の色彩基準に配慮すること。

＜配色構成＞※基本的な割合は目安であり、デザインなどにより色数や面積比は変化します。

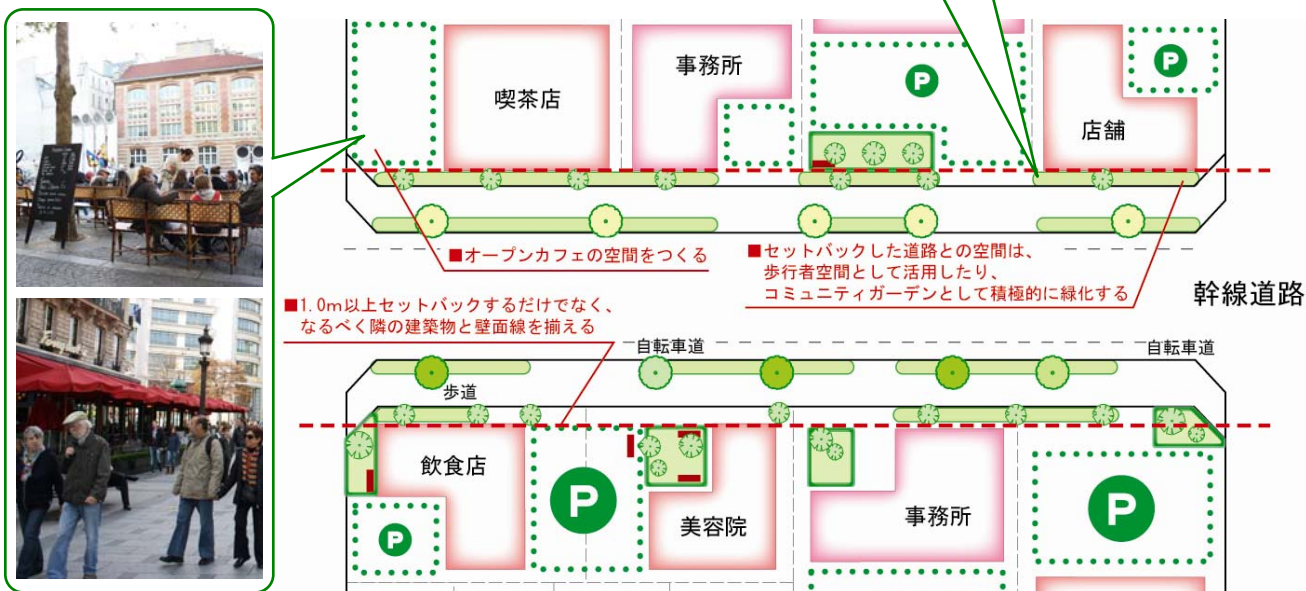
基調色 ベースカラー	- 最も大きな面積を占め、イメージ全体を左右する。 - 個性の強すぎない物を選ぶのが一般的。 - 基本的な割合は、全体の約70%。	市街化調整区域の場合 外壁の表面積 9/10
副調色 サブカラー	- 基調色と強調色の間を調和させ安定感を与えるために落ち着いた色を選ぶのがよい。 - 基本的な割合は、全体の約25%。	市街化区域の場合 外壁の表面積 4/5
強調色 アクセント カラー	- 小さな面積に用いて全体を引き締めるために使う。 - 単調になりすぎた配色に変化や動きを与えるため、比較的ハッキリした色を選ぶとよい。 - 基本的な割合は、全体の約5%。	

3-2. 景観への配慮

(1) 道路と建物壁面の間にゆとり空間の確保

安養寺では、「住」と「商」の共生をまちづくりのテーマに掲げ、特に、お店や事務所などが多く立地する幹線道路沿いでは、道路と建築物の間の空間を**大切に、センス良く**使いたいと考えています。

幹線道路沿道においては、地区計画で**1.0m以上のセットバック**をルールとしていますが、隣り合う建物と**壁面線**を揃えたり、積極的に**緑化**したり、道路と建物の間をオープンカフェなど**コミュニティスペース**として提供するなど、その場所その場所にふさわしい**魅力あるゆとり空間の確保**に取り組みましょう。



(2) 看板・広告物の大きさ、高さ、色彩、意匠による景観の質向上への寄与

良好な景観を形づくり上で、**看板・広告物**は重要な役割を担います。

花と緑のまちづくりと同様、安養寺においては、誰に伝えるか、見る人の感じ方なども考えながら、大きすぎず・高すぎず、けばけばしすぎない、**センスの良さ**を感じられる看板・広告物にしていきましょう。



(3) 景観に調和する塀・工作物の設置または壁面緑化、生垣の採用

周囲の景観との調和に配慮している想いが伝わるよう、**塀や工作物**についても、安養寺の景観まちづくりにふさわしい取り組みを進めていきます。

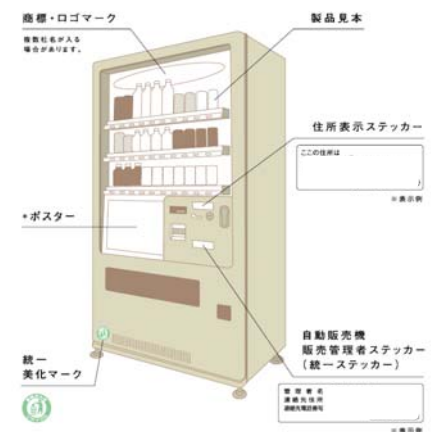
隣接する建物の**壁面線**と塀の位置を揃えたり、四季の変化を楽しむことができる**壁面緑化**や**生け垣**など、その場所や周囲との関係を総合的に勘案しながら、**センスの良さ**を感じられる良好な景観づくりに取り組みましょう。



(4) 自動販売機の設置コントロール、おさえた色彩（茶、黒、グレー系など）

カラフルな自動販売機が煩雑に設置されていると、まちに雑多なイメージを与えるとともに、歩行者や自転車利用者などの安全性の確保への影響も懸念されます。

今後は、自動販売機についても、**周辺景観への影響**に配慮し、薄い茶色など**落ち着いた色彩**にするだけでなく、**設置自体の必要性**についても配慮しましょう。



(5) 防犯と夜のまちなみに配慮した夜間照明

様々な都市活動から生まれる**「光」**は、安養寺の景観まちづくりでも大切にしていきたいと考えています。

周囲に迷惑が掛からないよう配慮しつつ、安心・安全な暮らしを支えるだけでなく、地域の人が帰って来た時にほっとしたり、訪れた人がまた来てみたいと思うような、やさしい**夜間照明**の演出に取り組んでいきましょう。



(3) 1階道路に面した部分の明るさ、にぎわいへの配慮

市役所前いちよう通り((都)手原駅新屋敷線)と(都)上鉤上砥山線は、多くの人や自動車が行き交う幹線道路であり、地域住民の暮らしを支える生活利便施設が立地しています。

これらの幹線道路に面した**1階部分**は、特に、オシャレなカフェやセンスの良いお店にしたり、道路との一体感を感じられる開放的な開口部にするなど、閉鎖的にならないように配慮し、行きたくなる・利用したくなる**明るいイメージづくり**や**地域のにぎわいづくり**に取り組みましょう。



(4) すでに取り組を進めるまちづくり、市民活動との理解・協力・連携

安養寺では、栗東中学校と連携した**地域ふれあい花壇**の取り組みや、**市役所前いちよう通り振興会**による美化活動、**安養寺景観まちづくり協議会**による**コミュニティガーデン**づくりの取り組みなど、積極的なまちづくりが展開されています。

こうした取り組みを理解・尊重し、互いに相乗効果が高まるような連携のあり方を検討・実践していきましょう。

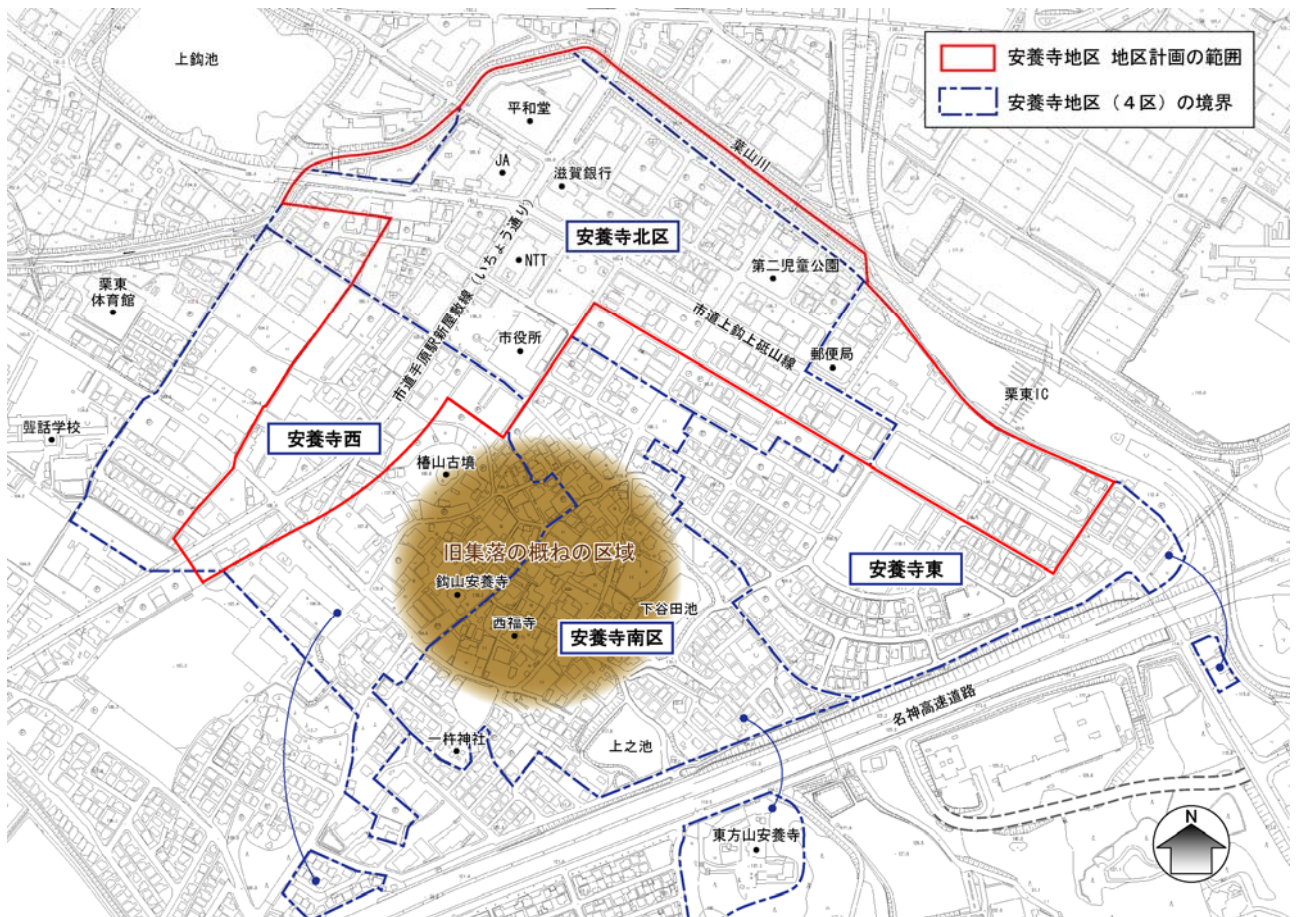


4. 緑の住まい地区・地区計画区域以外における配慮

(1) 歴史的・文化的な雰囲気と調和した景観づくり

安養寺には、安養寺西や安養寺南区を中心に**旧集落の趣**を感じることができる**木造の戸建て住宅**が立地しています。勾配屋根や銀鼠色の瓦をはじめ、白漆喰の壁、こげ茶色を基調とした焼杉の板塀、和風住宅に似合う生垣や石垣など、旧集落の頃からの道路幅員と一体となった**安養寺の歴史を感じる景観**に調和した景観づくりに取り組みましょう。

また、地区内に残る椿山古墳などの**歴史資源**、上之池や下谷田池などの**自然資源**との調和や、これらの資源を活かした景観づくりにも取り組んでいきましょう。



(2) 緑豊かな住宅地の景観づくり

安養寺においては、幹線道路の後背地を中心として低層戸建ての住宅地が形成されており、積極的に**ガーデニング・緑化**に取り組んでいる住宅も見られます。

地域全体で**花と緑のまちづくり**に取り組んでいることが感じられるよう、**緑豊かな住宅地の景観づくり**に取り組むとともに、安養寺東や安養寺南区など高低差のある地域では変化のある地形条件にも配慮した景観づくりを進めましょう。



■参考資料

○植栽リスト（例）

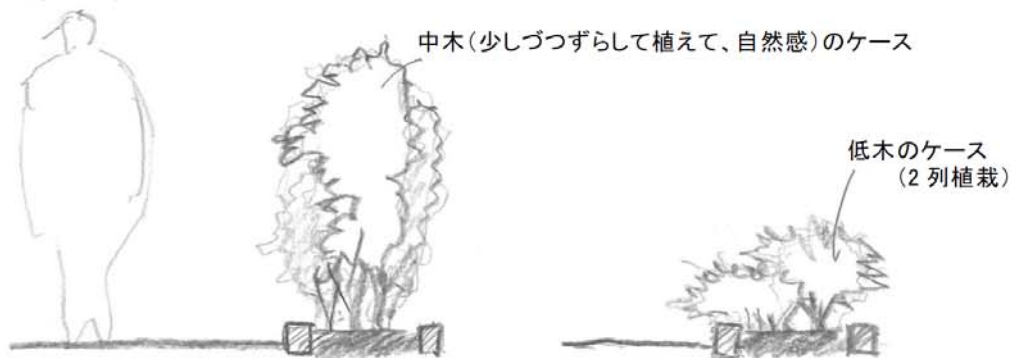
		春	夏	秋	冬	ALL Season
中高木 H2.5～4.0	常緑	ヤブツバキ 				ソヨゴ
	落葉	ハナモミジ ハナモモ コブシ エノキ 	マユミ(紅葉) ヤマモミジ(紅葉) イロハモミジ 	エゴノキ ヤマボウシ 		
中木 H1.0～2.0	常緑	ミモザ シラカシ アラカシ 	ユズリハ オリーブ 	キンモクセイ ギンモクセイ	サザンカ(白・赤) ロウバイ 	オリーブ シマトネリコ シラカシ トウネズミモチ フィリマサキ
	落葉	ユスラウメ 	サルスベリ ベニパスモモ 	ニシキギ(紅葉) 	トキワマンサク 	
低木 H0.3～0.5	常緑	アセビ ヤマツツジ アベリア(ホーブレイス) ハクチョウゲ ウツギ・ヒメウツギ クチナシ・コクチナシ 	チャノキ 	エリカ センリョウ カンツバキ ジンチョウゲ	アオキ フィリアオキ シルバープリペット	
	落葉	ヤマブキ アジサイ ユキヤナギ レンギョウ コデマリ 	ティカカズラ ビョウヤナギ ムラサキシキブ シモツケ 	オウバイ 		
地被(草花)		フッキソウ オレガノ	ギボウシ ノシラン ヒメイワダレソウ	ヤブラン ランタナ セージ ミソハギ	クリスマスローズ ローズマリー 	アスパラガス ヒメツルニチソウ ハツユキカズラ タイム



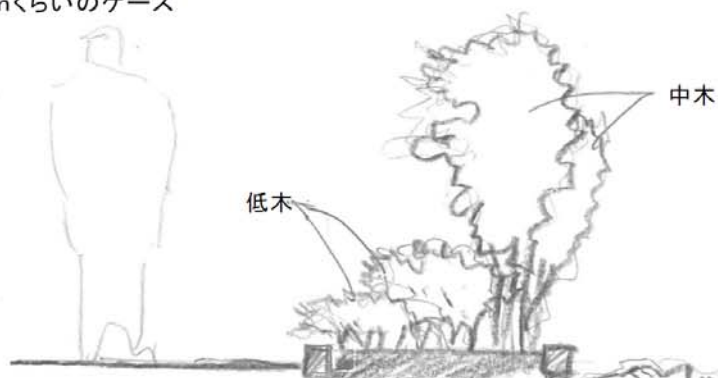



○植栽帯の幅に応じた植栽例

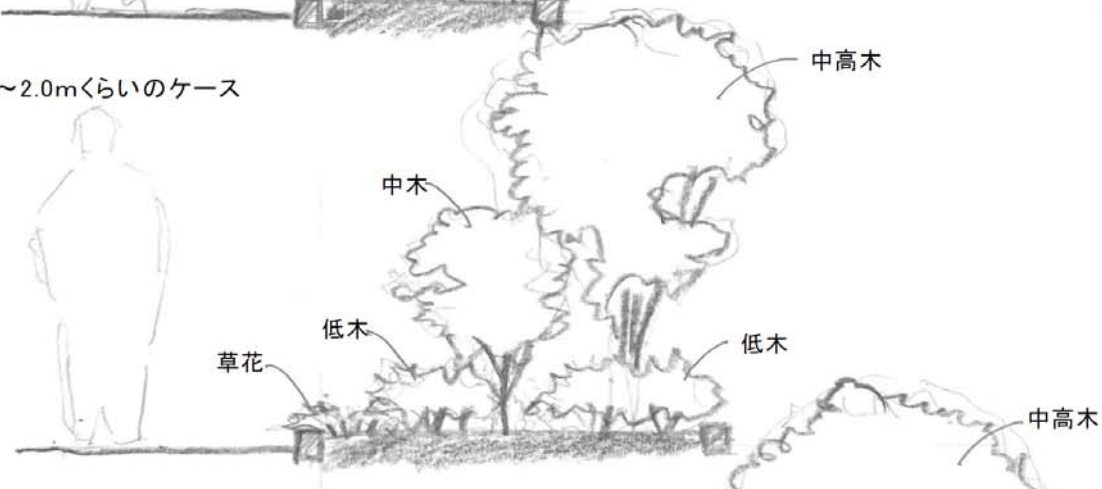
A 0.5mくらいのケース



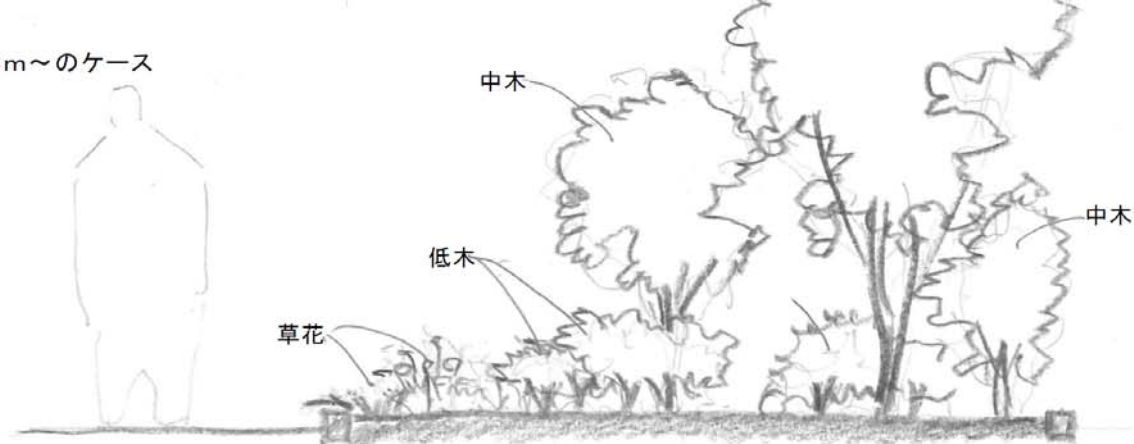
B 1mくらいのケース



C 1.5~2.0mくらいのケース

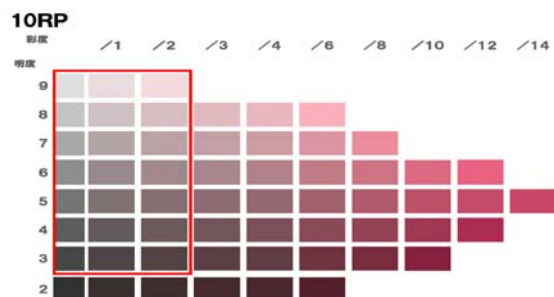
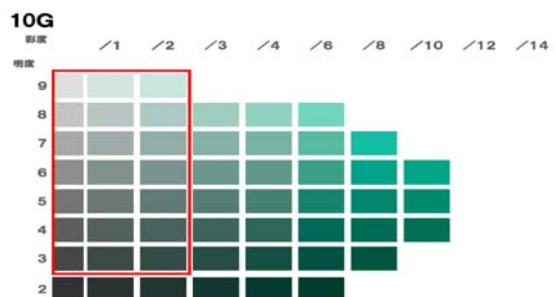
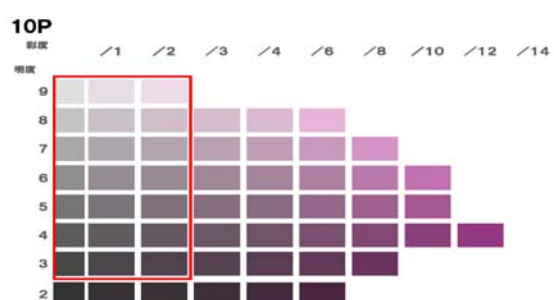
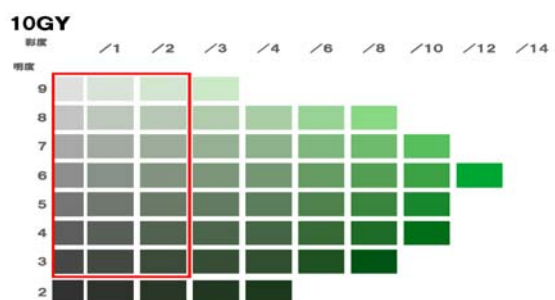
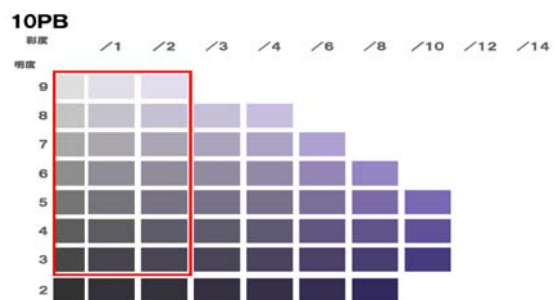
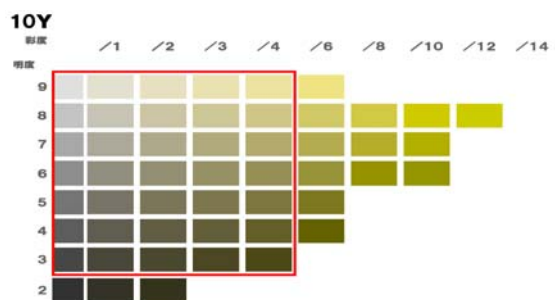
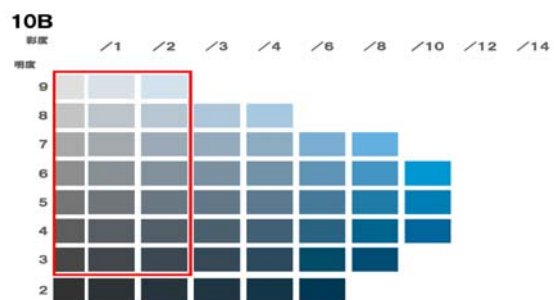
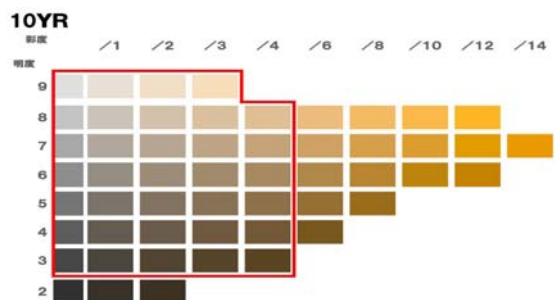
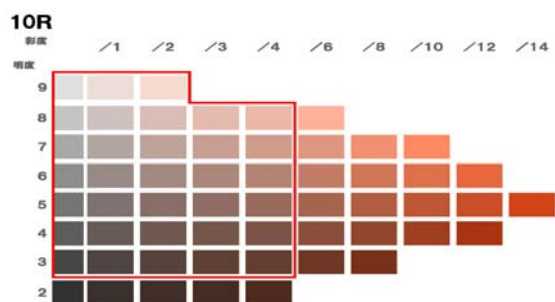


D 3m~のケース



○色彩例

(赤枠内が、「百年先のあなたに手渡す栗東市景観計画」における、建物などの外壁の景観形成基準)



※参考として J I S (日本工業規格) に定められた基本色相 (マンセルの主要 10 色相) における等色相面※1を用いて表示 (実際の色は色票により要確認)

※1: ある色相について、明度(縦軸)と、彩度(横軸)の度合いを並べたもの。

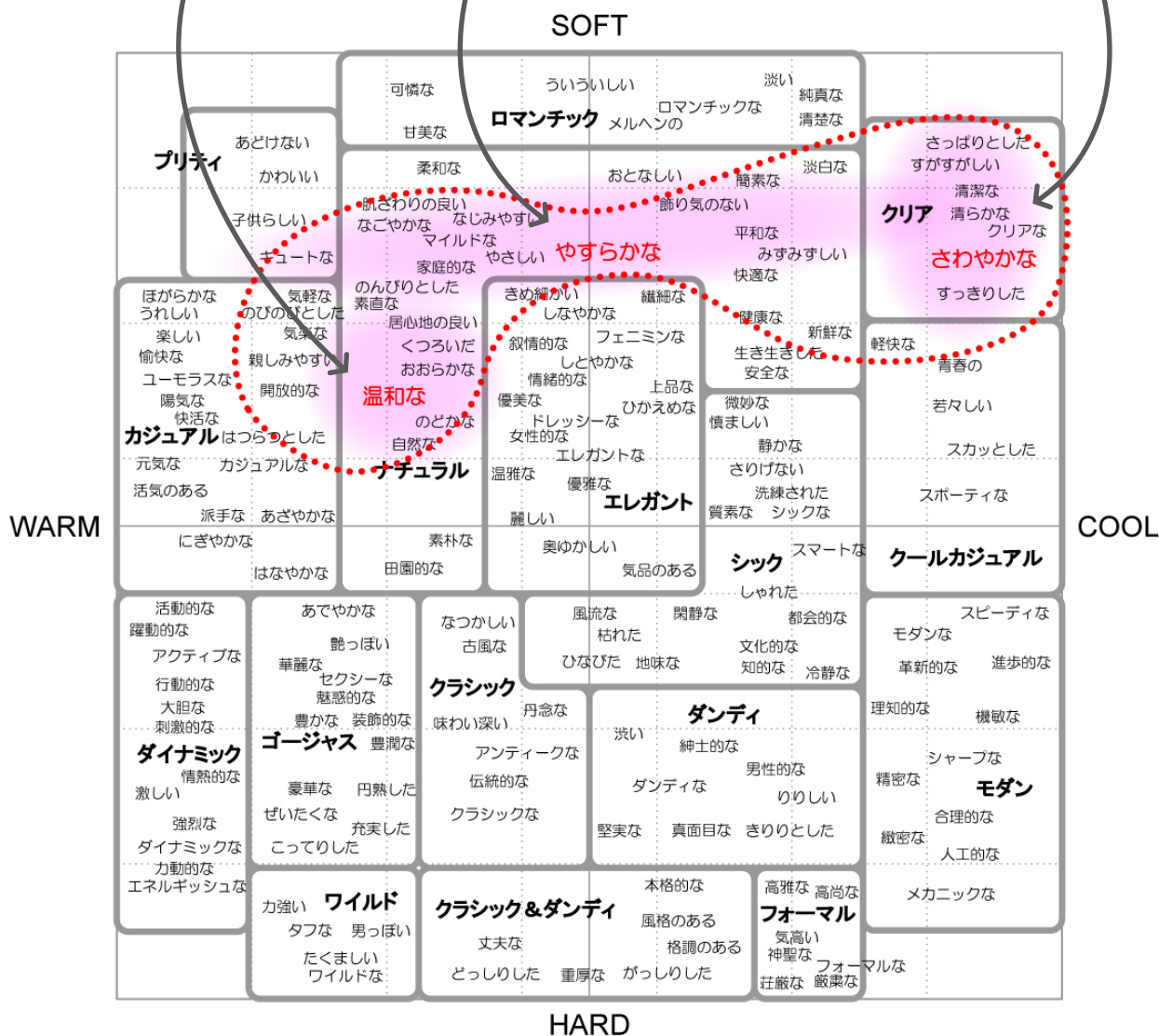
最高彩度は色相によって異なり、色相環で選ばれた純色は等色相面上で最も高い彩度となる。

○さわやかさ、やすらぎ、あたたかさを感じる配色例（言語イメージスケール※）

温和な				
22	62	51	42	52
YR/B 5YR8/7 [FEB57E]	YR/L 5YR7/5 [D29E78]	R/Lor 5R8/2 [DABDBC]	YR/Vp 5YR9/1 [EBDED6]	YR/Lgr 5YR8/2 [D7C0B0]
くつろいだ				
62	72	52	42	8
YR/L 5YR7/5 [D29E78]	YR/Gr 5YR5/2 [867163]	YR/Lor 5YR8/2 [D7C0B0]	YR/Vp 5YR9/1 [EBDED6]	PB/V 5PB4/12 [005EAE]
自然な				
54	43	55	44	56
GY/Lgr 5GY8/3 [C4C89E]	Y/Vp 5Y9/1 [E6E0D2]	G/Lgr 5G8/2 [ADCBBE]	GY/Vp 5GY9/2 [E1E3C6]	BG/Lgr 5BG8/3 [9ECD9]

やすらかな				
52	43	53	54	44
YR/Lor 5YR8/2 [D7C0B0]	Y/Vp 5Y9/1 [E6E0D2]	Y/Lor 5Y8/2 [CEC4A8]	GY/Lgr 5GY8/3 [C4C89E]	GY/Vp 5GY9/2 [E1E3C6]
マイルドな				
51	42	53	43	52
R/Lor 5R8/2 [DABDBC]	YR/Vp 5YR9/1 [EBDED6]	Y/Lor 5Y8/2 [CEC4A8]	Y/Vp 5Y9/1 [E6E0D2]	YR/Lor 5YR8/2 [D7C0B0]
簡素な				
48	121	123	122	53
PB/Vp 5PB9/1 [DDE0E9]	N9.5 [EFEFEF]	N8 [C4C4C4]	N9 [E0E0E0]	Y/Lgr 5Y8/2 [CEC4A8]

さわやかな				
25	47	28	121	27
G/B 5G7/10 [00C38C]	B/Vp 5B9/2 [CCE4EE]	PB/B 5PB7/8 [84A9E6]	N9.5 [EFEFEF]	B/B 5B7/8 [2BB6DA]
さっぱりとした				
37	47	36	121	46
B/P 5B8/5 [8CCDE4]	B/Vp 5B9/2 [CCE4EE]	BG/P 5BG8/5 [7ED3CC]	N9.5 [EFEFEF]	BG/Vp 5BG9/2 [C7E7E4]
清潔な				
46	121	47	38	48
BG/Vp 5BG9/2 [C7E7E4]	N9.5 [EFEFEF]	B/Vp 5B9/2 [CCE4EE]	PB/P 5PB8/6 [ABC4F3]	PB/Vp 5PB9/1 [DDE0E9]



※イメージスケールとは、人によって微妙に異なる色に対するイメージについて、共通するイメージの感覚を心理学的研究の蓄積で明らかにしたもの。Hue&Toneの130色それぞれのイメージをSD法によって調査し、結果を蓄積し、イメージの判断基準であるWARM-COOL、SOFT-HARDの座標軸上に単色、形容詞、形容動詞を表現した配色を配置したものが言語イメージスケール。

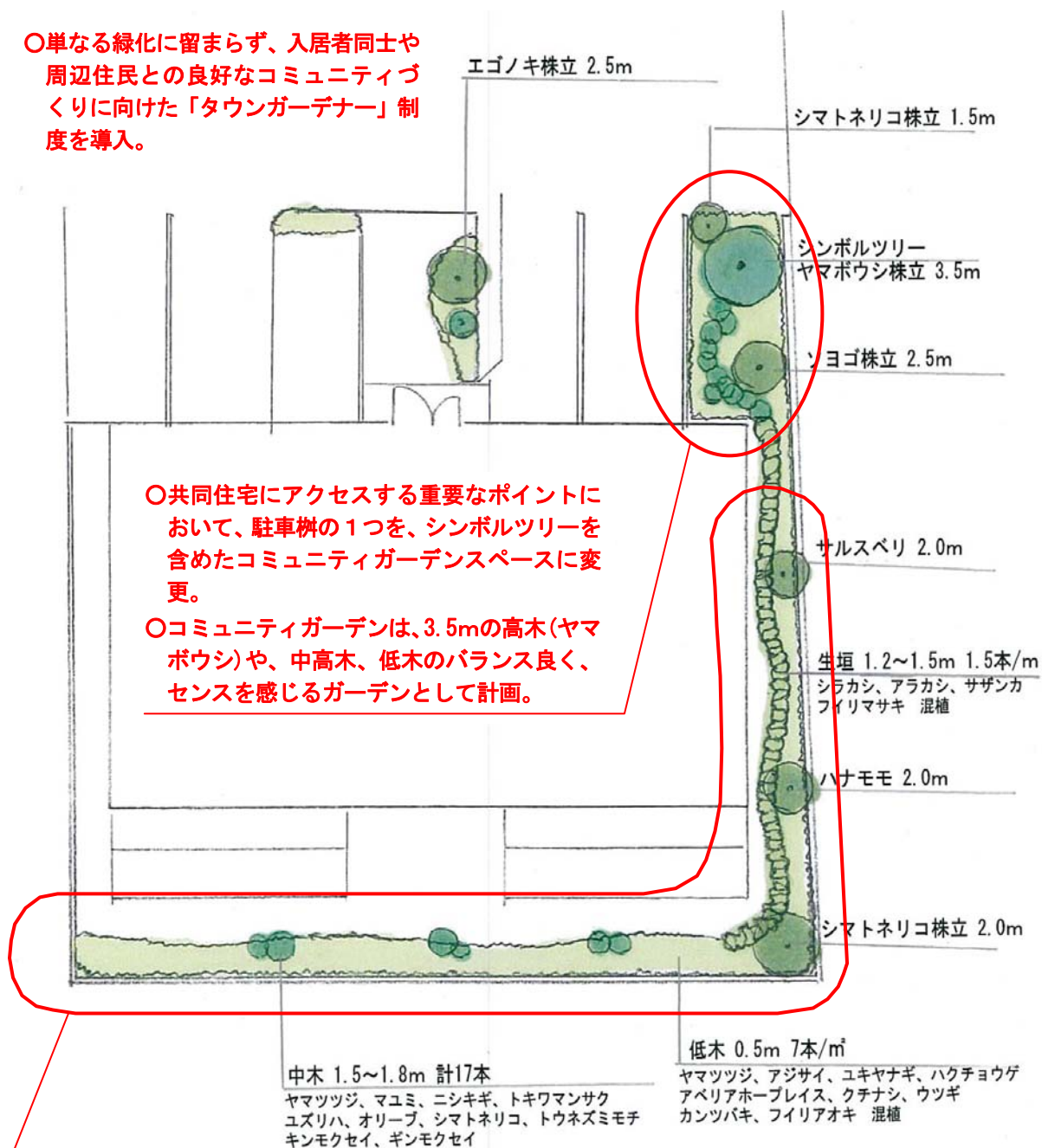
○参考事例

《事例① 共同住宅の新築》

○提案の概要

- ・住宅、農地、店舗が共存する安養寺地区にあつて、幹線道路から一步入った当該地に、街並みに配慮した共同住宅を計画。
- ・景観に溶け込んだ色彩の建物デザイン、通りに対してオープンな外構デザインは、やすらぎ感や地域のコミュニティづくり、これからの「花と緑を取り入れた安養寺のまちづくり」に貢献。

○単なる緑化に留まらず、入居者同士や周辺住民との良好なコミュニティづくりに向けた「タウンガーデナー」制度を導入。



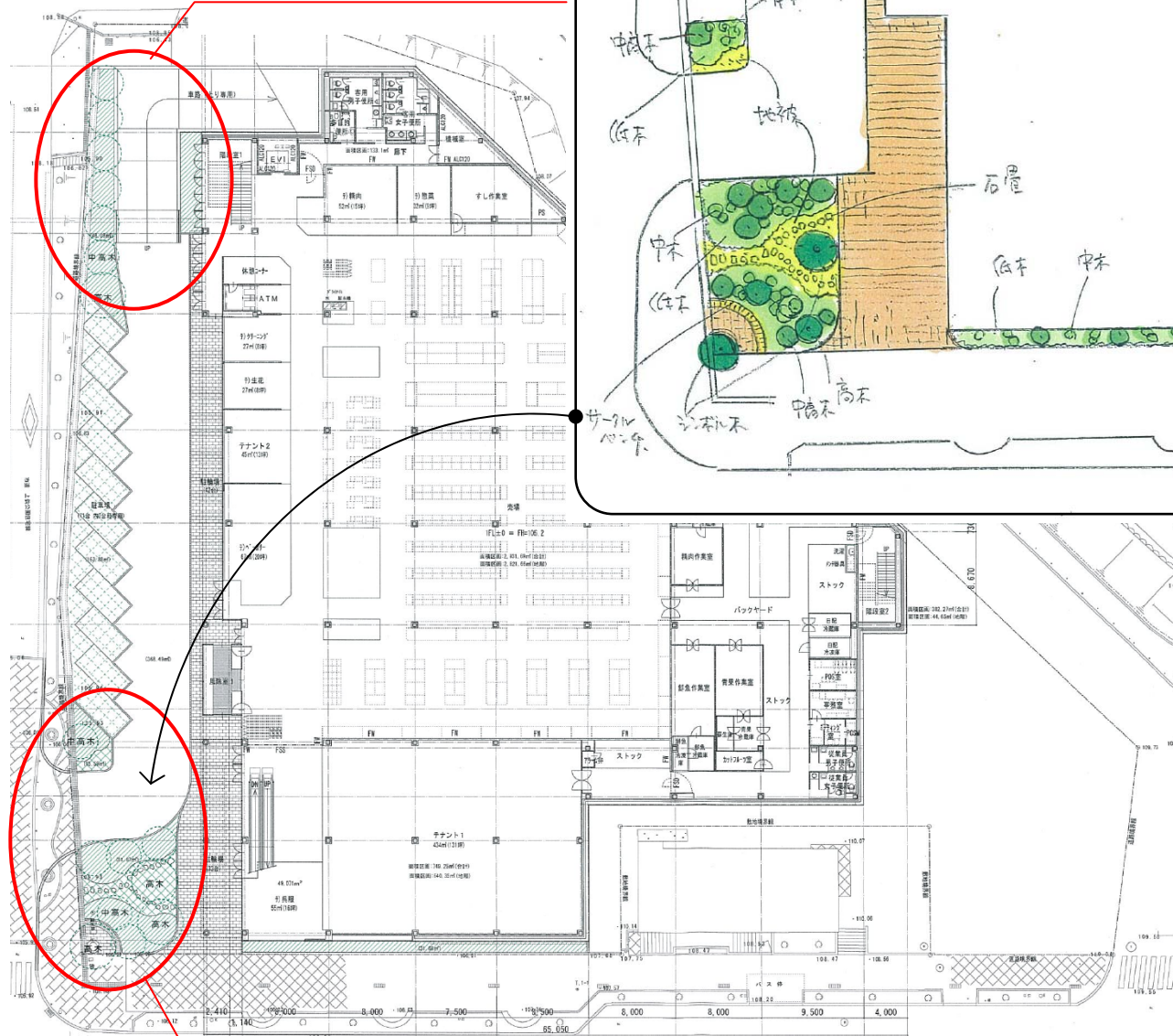
- 従来の生垣のイメージを転換し、「(仮称)花と緑のガイドライン」を尊重した緑化空間を演出。
- 敷地角には高木(シマトネリコ)を配置するとともに、全体的なバランスを考えつつ、中木、低木、草花等によるトータルにデザインした季節感を感じるガーデンとして計画。

《事例② 商業施設の建て替え》

○提案の概要

- ・設計のテーマとして、「水と緑」を基本に据えた施設づくりを行う。
- ・敷地内の平面緑化や壁面緑化による「緑」の空間づくりに加え、色や形状・素材感で、身近にある「水」、「土」、「光」など、生きていくものにとって無くてはならない自然を表現。

○敷地周囲も高木・中高木をセンス良く配置し、きめ細かに緑化



○いちょう通り側のメインアクセスとなる場所には、駐車スペースを減らしてまで、買い物客や歩行者が気軽に立ち寄れるサークルベンチ、四季の移ろいを感じられるセンスあふれる小さな森を配置。



○「水と緑」をイメージした壁面緑化等をデザインし、いちょうの街路樹と一体感ある緑化を実現。